

美桑が丘

《校訓》
『創造敬愛』
下川中学校 学校だより
第5号
R4.8.31発行

下川を愛する生徒

校長 桑内 寿 則

88日間の2学期が始まりました。今年は本州の猛暑に比べると過ごしやすく、穏やかな夏休みとなりました。生徒たちは部活動や学校祭の準備、地域の行事等様々な活動に積極的に取り組むことができました。一方、今年は3年ぶりに行動制限のない夏休みとなりました。いわゆる第7波の流行により心配な報道が多く、これまでと同様、十分な感染防止対策が必要な状況です。ご家庭においても引き続きご協力をお願いします。

少し前のデータになります。ある調査結果で「就職試験で大切だと思うことは？」という問いに対して、採用される側の学生の回答は「学歴」、「取得資格」、「学校で学んだ専門分野」が上位3項目でしたが、企業側の担当者は「人柄の良さ」「空気を読む力」「成長意欲の高さ、将来性」という結果だったそうです。学生側は「書類を見ればわかること」が上位ですが、企業側は「人の内面に關わることを大事にしている」ということが感じられます。また、学生側は「得るための努力が具体的にイメージできる」こと、企業側は「得るための努力が具体的にイメージしにくい」という見方もできます。

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の詳細がまとまりましたので、別紙にてご報告いたします。実施された3教科においては、十分に学力の向上が見られる結果となっております。調査結果は今後、全教科における授業改善につなげてまいります。

一方、今、子どもたちに身に付けさせなければならないのは、調査等で見取ることのできる知識・技能等に加えて、「進んで学ぼう」としたり、「よりよく学ぼう」としたり、「仲間と協働して取り組もう」としたり、「粘り強く学ぼう」としたりする等、「これからの社会で必要とされる力」になります。見方によっては、これらの力は、「身に付けるための方法が具体的にイメージしにくい」という点で前述の企業側の回答と重なるのではと感じます。

下川町では「義務教育9年間でめざす姿」を制定し学校はその実現のために工夫・改善しながら教育活動を進めております。「めざす姿」の一つは「下川を愛する生徒」で「…主体性を発揮し学び続けることができる」等の7項目です。「こうすればよい」という具体策がイメージしにくく、また、コロナ禍で互いのつながりが希薄になっている中、容易ではありませんが、校内外を問わず、世代の違う様々な人と関わったり、試行錯誤しながら何かに取り組んだりすること等の活動で、「下川を愛する生徒」を実現させたいと考えております。ひいては、それが「これからの社会で必要とされる力」を生徒たちに身に付けさせることにつながるのではないかと信じております。

2学期も様々な場面で保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



中体連等の結果

■夏休み中に中体連全道柔道大会が稚内で開催されました。また吹奏楽部も美深町で開催された吹奏楽コンクールに出場しました。日頃の練習の成果を発揮してきました。

<柔道>

90kg 超級 木幡斗吾 1位 (全国大会へ)

<吹奏楽>

銀賞

町長表敬訪問

■中体連全道柔道大会で1位に輝き、全国大会の出場を決めた木幡さんが町長に全国大会への意気込みを伝えました。谷町長より「日頃の練習の成果を発揮してください。活躍を期待しています。」と激励の言葉をいただきました。



■全国大会では、激闘の末惜しくも初戦で負けてしまいました。「次、対戦するときは勝ちます」と決意を新たにしていました。

今後の予定

- 9月 1日(木)安全点検日
- 4日(日)学校祭
- 5日(月)振替休業
- 7日(水)性教育(1・2年生)
- 8日(木)・9日(金)・13日(火)
テスト前学習会(3年生)
- 12日(月)研修日
- 14日(水)学力テスト(3年総合Aテスト)
- 15日(木)・16日(金)・21日(水)
テスト前学習会(全学年)
- 19日(月)敬老の日
- 20日(火)職員会議
- 21日(水)下川商業高校体験入学
- 22日(木)2学期中間テスト、常任委員会
- 23日(金)秋分の日
- 26日(月)諸費納入日、ビジネスマナー講座
- 27日(火)教育委員訪問、
生活リズム強化週間~10月3日
- 28日(水)生徒会役員選挙
(R4.10月~R5.9月)
- 29日(木)避難訓練

ラジオ体操

■夏休みに10日間行われたラジオ体操。通常の登校日より早起きだったかもしれませんが、中学生も参加していました。



ウィークエンドスクール

■公民館3階で夏休み8日間で行われました。中学生は4~5名参加していました。会場には、辞書や図鑑、参考書、さらには問題集も用意されています。もちろん学校の宿題もできます。わからないところは、2名のスタッフが丁寧に教えてくれます。参加していた生徒は「自分の部屋より集中できて勉強がはかどるんです」と話していました。2学期も利用してみませんか。

トイレのいたずら

■2学期がスタートして、すぐに、トイレのいたずらがありました。トイレはみんなが安心して使えるところであればいけないのに、とても悲しい出来事です。このままではみんなが困ります。安心して過ごせるように全教職員、全校生徒で取り組みを進めます。

部活動育成会ポスター



■各部活動の活動を応援するために、毎年ポスターを作成しています。本来は、育成会の集いでお披露目しているのですが、今年は学校便りでの紹介になりました。

令和4年度 学校評価(中間報告)

下川町立下川中学校 NO.1

- ・質問項目に対し、A) とてもそう思う、B) だいたいそう思う、C) あまりそう思わない、D) まったくそう思わないの四択で回答。
- ・その内、A+Bを肯定的意見、C+Dを否定的意見として考える。
- ・グラフは、肯定的意見の割合を表している。

【表について】

・肯定的な意見が90%以上 (◎)、90%未満80%以上 (○)、80%未満70%以上 (△)、50%以下 (▼)

グランドデザイン	保護者(P)		生徒(S)		教職員(T)	
重点目標			1 さまざまな場面で友と語り、考え、よりよく思考することができましたか。	98% ◎		
学力向上	1 お子様は学校の学習に前向きに取り組んでいると思いますか。	88% ○	2 学校の学習に前向きに取り組んでいますか。	92% ◎	1 生徒が興味をもって意欲的に学習に取り組めるような教育内容、教材教具の工夫を行った。	100% ◎
	2 お子様は各教科の基礎・基本が身につけていると思いますか。	69%	3 各教科の学習内容が身につけていると思いますか。	88% ○	2 学力の定着を図るために、目標に準拠した評価を行うとともに学習指導の改善を行った。	80% ○
	3 お子様はタブレットを十分に活用していると思いますか。	69%	4 学校の授業は分かりやすいですか。	98% ◎	3 授業等で効果的にICT機器を活用している。	94% ◎
	4 お子様は学校の授業以外で、学習に取り組むことが習慣になっていると思いますか。	55%	5 授業ではタブレットを活用し、学習に取り組んでいますか。	98% ◎	4 生徒が授業以外に学習に取り組むことのできる手立てを行った。	87% ○
豊かな心	5 お子様は相手のよいところを見るようにし、誰に対しても思いやりの心をもつように努力していると思いますか。	92% ◎	7 誰に対しても相手のよいところを見るようにし、思いやりの心をもつように努力していますか。	88% ○	5 生徒の悩みや不安を共有・共感し積極的に関わっている。	94% ◎
	6 お子様は時と場合に応じた挨拶や身だしなみができていると思いますか。	86% ○	8 時と場合に応じた挨拶や身だしなみができていますか。	89% ○	6 危機管理(感染症対策、問題行動等)への対応は十分だった。(全校)	94% ◎
たくましい心身	7 お子様は食事や睡眠など規則正しい生活習慣が身につけていると思いますか。	55%	9 食事や睡眠など規則正しい生活をしていますか。	70% △	7 基礎的な生活習慣の確立のために適切な指導や助言、支援を行った。	88% ○
ESDとキャリア教育	8 お子様は将来の夢を考えたり、目標に向かって努力していると思いますか。	61%	10 将来の夢や目標がありますか。	61%		
			11 課題に感じたことを解決するために考えたり、行動したりしていますか。	91% ◎		
小中連携	9 小学校との連携は進んでいると感じますか。	55%			8 「9年間をめざす姿」の実現に向け、小中連携の取組は進められている。(全校)	69%
下川を愛する生徒	10 お子様は下川町には誇れるものがあると感じていますか。	65%	12 下川町には誇れるものがあると思いますか。	85% ○		
			13 地域の活動に参加していますか。	58%	9 家庭・地域との連携は成果となっている。(全校)	81% ○
	11 お子様の成長や学校での様子などを知る機会があると思いますか。	73% △				
			14 学校は楽しいですか。	92% ◎	10 働き方改革と学校改善は一体的に進んでいる。(全校)	69%

分析の結果と改善策

【学力向上を問うもの】

- ・「主体的に学んでいる」本校の生徒像が浮かび上がりました。(P1、S2、T1)
- ・基礎・基本の定着に関しては、生徒の意識に昨年度より改善が見られます。今後さらに定着するように授業改善を進めていきます。(P2、S3、T2)
- ・家庭学習の定着には課題があります。家庭学習をする習慣づけができる手立てを工夫する必要がありますが表れています。(P4、S6)

●学び場(放課後に1日の学習内容を振り返る時間)をさらに活用し、家庭学習に繋がるよう工夫します。

【豊かな心を問うもの】

- ・「思いやりをもった言動がとれる」生徒像が浮かび上がりました。(P5、S7、T5)

【たくましい心身を問うもの】

- ・睡眠時間の短さなど心配な部分もありますが、おおむねできていると思われまます。(P7、S9、T7)

●家庭と共に望ましい生活習慣が確立するよう引き続き、取り組んでいきます。

【ESDとキャリア教育を問うもの】

- ・夢や目標に向かって何をすべきか考える場面の設定が必要と考えます。(P8、S10)
- 総合的な学習の時間を通して、外部の講師とも連携しながら将来の目標を考える授業を行います。

【小中連携を問うもの】

- ・小学校との連携について、具体的な取組をお知らせしていきます。(P9、T8)

【下川を愛する生徒を問うもの】

- ・生徒の具体的な様子が保護者、地域に分かるように情報発信していきます。(P10、P11)

学校の教育活動について改善点のご提案がございましたら、具体的に文章で記述してください。

Q	よく学級通信を出していただき、学校での様子が分かるので親として嬉しいですが、タブレットは学校でどのように使っているのかはよく分かりません。学校も行事も委員会活動も大変ながらも積極的に行っている様子なので良かったと思っています。いつもお世話になっていますが、これからもよろしく願います。
A	ご支援ありがとうございます。2学期も引き続き情報を発信していきます。タブレットの使用方法等もお知らせする予定です。
Q	コロナや戦争、詐欺や不祥事など、社会には暗いニュースばかりあふれています。身近に感じられる人や組織の活動を紹介するなどして、生徒たちが自分たちやその後の世代の将来に夢や希望を持たせてあげてほしいです。きっと意欲的に高校やその先の進路を選んでくれると思います。
A	学校としても同じ思いです。2学期は全学年でキャリア教育の充実を進めます。
Q	改善点ではなく、先生方の努力は素晴らしいと思います。いじめ不登校プロジェクトチームは、今まで学校に行けなかった子達を（しかも6人も）解決に導いたことは本当にすごいと思いました。
A	ご支援ありがとうございます。2学期もいじめ、不登校0をめざして取り組んでいきます。
Q	パソコンを使った授業も多いと思いますが、生徒の視力保護に注意していただければ幸いです。
A	ご助言、ありがとうございます。1時間の授業の中では15分程度の活用ですが、目を疲れさせないことも意識し授業を行うようにします。
Q	集金が多く、おつりのないようになり、現金を都度用意するのは大変である。口座もあるので、引き落としなどできないでしょうか。
A	ご意見ありがとうございます。4月の段階で分かっているものについては口座振替を行っています。それ以外については、その都度検討します。
Q	早急にオンライン授業を可能にしてください。
A	現在、教育委員会と相談しタブレットの持ち帰りに向けて準備を進めています。
Q	6月はテスト、中体連が続き、日程的、体力的にも忙しそうにしていました。テストの日程変更等はいかがなものでしょうか…。またカバンが重たすぎて驚きます。必ず持ち帰る教材をもう少し減らせたら良いと思います。（時間割の熟考など…）暑い中、重たいカバンを持ち、ジャージ上下を着て通学す中学生、大変そうです。暑い日はジャージ上を着ないでの登校は可能でしょうか？
A	ご意見ありがとうございます。6月の日程について、次年度は過密にならないように検討します。学校に置いておくものを決めていますので、今一度、お子様とご確認ください。また、天候に合わせた服装をするように指導しています。ぜひ、ご家庭でも声をかけてください。（ジャージの上を着ないでの登校は可能です。）
Q	制服の着用について改善を求めます。コロナもあり、盗難もある中での制服は本当に必要だとは思えません。
A	ご意見ありがとうございます。現在、制服を着るのは入学式、卒業式、始業式、終業式、テスト当日、外部から講師を招いたときなど年間25日程度です。制服には学校での一体感や愛校心などを醸成する役割等があると考えています。また場面に合わせた服装をすることも大切な学びと考えています。なお、着替え場所については、コロナ感染症予防から、密にならないように人数制限をし、換気をしています。ご理解をお願いします。
Q	「わからない」と言う生徒が多い科目の授業は改善してほしいです。その先生をなぜ何年もほったらかしなのか理解できません。その環境のせいで入試の時、他校生徒と差が出る事のないようにしてほしいです。他の先生の授業を見合っって評価、意見する機会を作って欲しいです。
A	ご意見ありがとうございます。生徒が「できた」「わかった」と喜びを味わいながら学べるよう、一人一人のよさを見つけ、共に伸びるように全教職員で引き続き、研修に励んでいきたいと思ひます。また生徒のニーズをより詳しく把握する方法も検討します。

ありがとうございました。これからも、教職員一同、真摯な態度で自分の職責に取り組んで参ります。（紙面の関係で全てを掲載できませんでしたが、全教職員で全ての御意見に目を通させていただきました。）改善を要する御意見等には、回答を掲載させていただきました。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 「下川中学校」の状況について

国 語

分析結果	国語科については、「知識・技能」の正答率が北海道の平均に比べて高く、「行書の読みやすい書き方の理解」に関する設問で100%でした。一方で、「思考・判断・表現」の「書くこと」の正答率が低く、「自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く」設問では、根拠を示して書く力に課題がありました。
改善策	日常からさまざまな形態で文章を書き慣れることが大切です。朝読書で10分間の読書をしていますが、さらに長く読書の時間をとったり、新聞記事を読んだりして、考えたことや感じたことなどを短作文で表現することが有効です。条件作文を書く場面を今後も継続して設けていきます。

数 学

分析結果	数学科では、データの活用領域の正答率が高く、「確率の意味を理解しているか」「データの意味を的確に捉えているか」の設問ではいずれも95%近い値となりました。一方、関数領域として出題された3問のうち、2問が全国平均を下回り、「関数の意味を理解すること」「与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取ること」に課題があることが分かりました。
改善策	専科教員による複数体制を効果的に活用し、基礎・基本の定着を目指します。単元末に限らず授業の後半部に練習時間を厚めに設けることで、「基本的な知識・技能」の習得はもちろん、「数学ならではの表現法」や「論理的に考え説明する力」の定着を目指します。また、課題となった関数領域については、既習の学習（前年度分）に立ち返ることを欠かさずに授業を行っています。

理 科

分析結果	理科では、全ての観点及び領域で全国及び全道の正答率を上回りました。また、「思考・判断・表現」の正答率が高く、特に「地球」を柱とする領域では、全国及び全道の正答率より10%以上高い結果となりました。さらに、記述式の問題でも日頃の積み重ねが表れた結果となりました。一方、「エネルギー」を柱とする領域の正答率が他の領域より低く、グラフなどのデータを分析する力に課題が残り、視覚的に捉えにくいエネルギーに課題がありました。
改善策	データから読み取り分析する力を伸ばすため、実験結果の考察を充実させることや資料を分析する機会を増やします。また、ICT機器を効果的に活用し、視覚的に捉えにくい事象をより具体的にイメージしやすい授業となるよう工夫します。

生徒質問紙

分析結果	生徒質問紙（学習意欲・学習方法・学習環境・生活諸側面等に関する質問）では、難しいことにも挑戦し、ものごとを最後までやりとげ、達成感や喜びを味わっている生徒が多いことがわかりました。またいじめはどんな理由があってもいけないことと全員が考えていました。さらに地域との関わりやつながりも大切にしている生徒が多く、幼いころから地域の方々に支えていただいている結果だと感じております。一方、メディア使用のルールがないご家庭が多いことや家庭学習の取り組み方（時間・内容、計画的な取り組み方）に課題があるようです。
今後の取組	メディアとのかかわりを生徒自らが考え、使用時間を制限するなど適切に使えるようにする取り組みを通して家庭と連携した生活習慣の見直しを図ります。テスト前の学習会、毎日のまなび場（1日の学習の振り返り）の充実と家庭学習の計画、それに沿った学習に取り組めるよう働きかけていきます。3年生は本格的な受検体制に入り、実力をたくわえていく時期になりました。家庭学習の時間は学年+1時間とされています。義務教育の学習内容を定着させ、高等学校入学後の学習に備える必要があります。